記者発表資料

平成２７年　８月２１日
東 北 地 方 整 備 局
浅 瀬 石 川 ダ ム 管 理 所

岩木川渇水での浅瀬石川ダムのサポート

平成27年8月18日、平成27年三度目となる岩木川水系渇水対策支部（事務局：青森河川国道事務所）『注意体制』が解除されました。
５月からの小雨の為、浅瀬石川ダムでは、関係する利水者との綿密な連絡調整と協力体制による貯水位運用を行い、近年希に見る渇水を乗り切ることが出来ました。

■浅瀬石川ダムの実績

●補給量

平成27年6月8日　岩木川水系渇水対策支部（青森河川国道事務所）設置以降の浅瀬石川ダムからの補給日数及び補給量（平成27年8月20日現在）

７２日間の内５９日の補給　約８２％

５９日間の合計補給量　２，５４１万m^3

一日平均　　約３５万m^3

※補給量：ダムへの流入量以上にダムから放流（利水取水）を行った日及びその放流量（取水量）が流入量を上回った量の総量(m^3)

■浅瀬石川ダム利水補給の効果

●津軽地域８市町村※**７，１５３haの水田（8,339人の従事者）**で使用。

（浅瀬石川土地改良区より）

水稲　約44,800tの収量（青森県全体の１５%に相当：浅瀬石川土地改良区提供）

●津軽地域**３５万人の水道用水へ供給。**

●朝日橋水位観測所（下流基準地点）での**維持流量 毎秒２．２m^{3}を確保。**

※：黒石市、平川市（旧平賀町、旧尾上村）、田舎館村、藤崎町（藤崎町、旧常盤村）、板柳町、鶴田町、五所川原市、青森市（旧浪岡町）

<<※発表記者会等　弘前記者会、黒石記者クラブ、津軽新報社>

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　浅瀬石川ダム管理所

管 理 所 長　　髙橋（たかはし）　忠良（ただよし）

管 理 係 長　　古川（こがわ）　政博（まさひろ）

電話：0172-54-8782　Fax：0172-54-8785

平成27年渇水におけるダムの効果【浅瀬石川ダム】

2015/8/20現在

◆浅瀬石川ダムからの利水補給の効果

●津軽地域８市町村※７，１５３haの水田（8,339人の従事者）で使用。（浅瀬石川土地改良区より）
水稲　約44,800tの収量（青森県全体の１５%に相当：浅瀬石川土地改良区提供）

●津軽地域３５万人の水道用水へ供給。

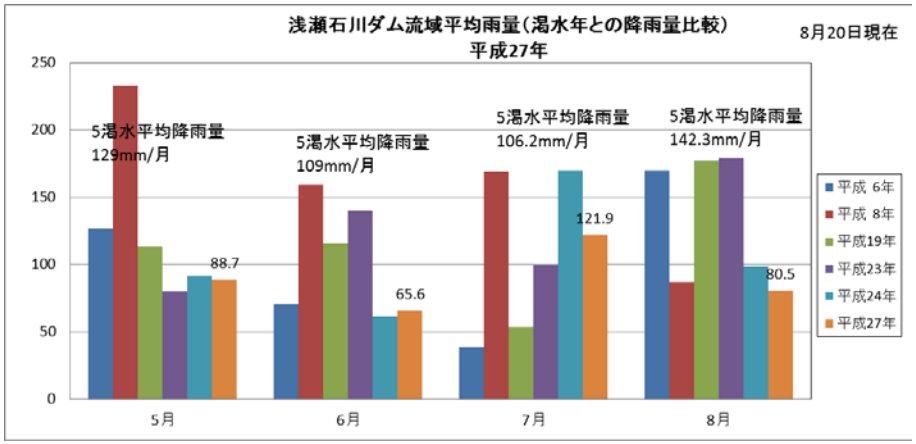
●朝日橋水位観測所（下流基準地点）での維持流量２．２m³/sを確保。

◆平成27年度は過去の代表的な渇水年よりも少ない降雨

主要な渇水年の平均降雨量の約70%の降雨量。

◆利水者との綿密な連絡調整・協力体制による貯水位運用

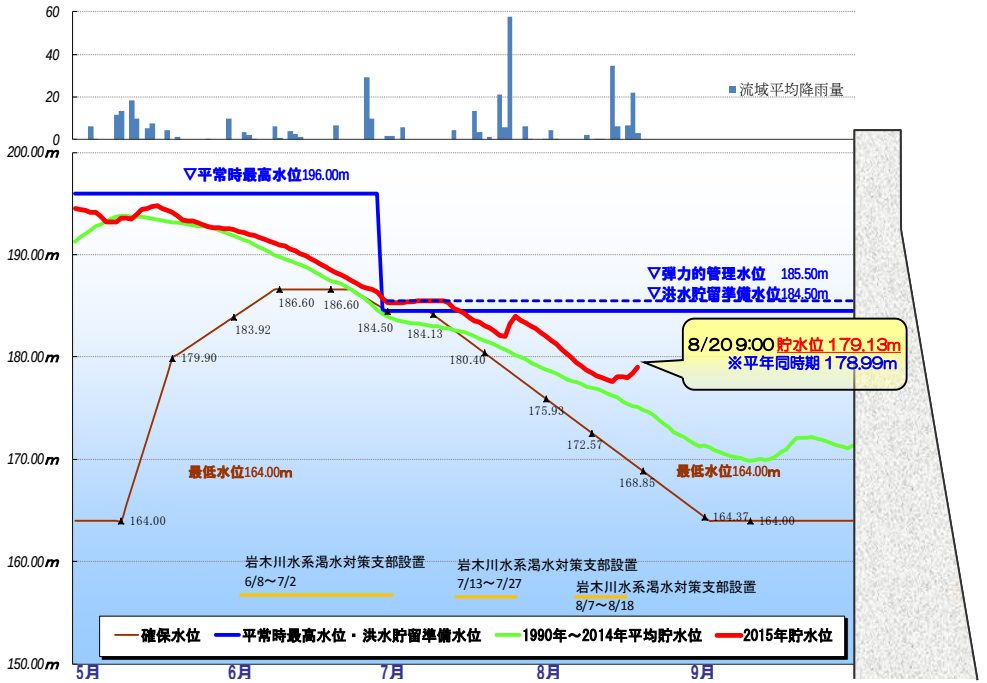
※：黒石市、平川市（旧平賀町、旧尾上村）、田舎館村、藤崎町（藤崎町、旧常盤村）、板柳町、鶴田町、五所川原市、青森市（旧浪岡町）



主要5渇水の5月から7月の平均降雨量（ダム流域平均）　121.7mm/月

平成27年5月から7月の平均降雨量※は89.2mm/月と主要渇水年の７３%でした。

※：H27年8月の降雨量は20日現在



平成27年渇水におけるダムの効果【浅瀬石川ダム】

◆浅瀬石川ダムの対応

●効率的・効果的貯水位運用により、下流への補給と高い貯水位を両立。

☞貯水位低下と高温による水温上昇の影響によるプランクトン増殖（かび臭発生）の回避

●維持流量を確保し、岩木川本川へも補給。

☞利水者（発電・かんがい）と綿密な調整

◆ダムの効果についてリアルタイムに情報発信。



ダムの効果のまとめ

●補給量

平成27年6月8日　渇水対策支部（青森河川国道事務所）設置以降の浅瀬石川ダムからの補給日数及び補給量

（８月２０日現在）

７２日間の内５９日の補給　約８２％

５９日間の合計補給量　２，５４１万m³

一日平均　約３５万m³の補給

※補給量：ダムへの流入量以上にダムから放流（利水取水）を行った日及びその放流量（取水量）が流入量を上回った量の総量(m³)

◆貯水池水質の監視

6月1日から貯水池水質保全のための湖水循環装置（曝気装　置）が稼働中であるが、7月下旬から、水面付近の水温が高い状態（20℃以上）となっていることから、監視・観測を継続中

平成27年渇水におけるダムの効果【浅瀬石川ダム】



平成27年渇水におけるダムの効果【浅瀬石川ダム】



←浅瀬石川ダム貯水池



↑曝気装置稼働状況



下流河川の状況



取水の状況（温湯頭首工）